

氏名	平 川 秀 三
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1403 号
学位授与の日付	昭和58年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	特異的甲状腺膜抗原抗体系についての研究 第1編 ゲル内沈降反応による可溶化甲状腺膜抗原に関する研究 第2編 可溶化甲状腺マイクロゾーム抗原免疫ラット血清に関する研究
論文審査委員	教授 長島秀夫 教授 木村郁郎 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

自己免疫性甲状腺疾患患者血中の抗甲状腺膜抗体についてゲル内沈降反応及び膜免疫ラット血清を用いて検討した。ゲル内沈降反応では橋本病15例中9例、グレーブス病15例中7例にサイログロブリン抗体系とは異なる沈降線を認めた。陽性例に於いて細胞膜分画とマイクロゾーム分画との比較では沈降線は完全に一致し、又橋本病、グレーブス病での甲状腺膜分画に対する沈降線は完全に一致していた。膜免疫ラット血清での検討では甲状腺マイクロゾーム分画免疫ラット血清に於いて自己免疫性甲状腺疾患患者で認められる沈降線と一致する沈降線がみられた。蛍光抗体法抑制試験では免疫ラット血清前処理にて患者血清の細胞膜染色は抑制されたが、細胞質内染色の抑制は明らかでなかった。以上より橋本病、グレーブス病での抗マイクロゾーム抗体は同一であり、又抗細胞膜抗体と抗マイクロゾーム抗体も同一であり細胞表面には細胞質内抗原の一部が表現されていると考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は自己免疫性甲状腺疾患患者血中の特異的甲状腺膜抗原抗体系について研究したもので、抗マイクロゾーム抗体及び抗細胞膜抗体等につき新しい知見を明らかにしたもので甲状腺疾患の臨床面で価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。